

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[5] キノリン	<p>【底質】</p> <pre> graph TD A["底質試料 湿泥 (乾泥換算約10g)"] --> B["抽出 アセトン 40mL 振とう 10分間 超音波 10分間"] B --> C["遠心分離 2,000rpm、10分間"] C --> D["希釈 5%塩化ナトリウム水溶液 500mL"] D --> E["pH調整 塩酸 pH1以下"] E --> F["洗浄 ジクロロメタン 50mL 振とう 20分間"] F --> G["pH調整 5M水酸化ナトリウム水溶液 pH10以上"] G --> H["振とう抽出 ジクロロメタン 50mL 10分間 ×2回"] H --> I["脱水 無水硫酸ナトリウム"] I --> J["濃縮 ロータリーエバポレータ 窒素パージ 2~3mLまで"] J --> K["溶解 ヘキサン 10mL"] K --> L["濃縮 ロータリーエバポレータ 窒素パージ 1mLまで"] L --> M["カラムクリーンアップ 5%含水シカガール 3g 妨害物質除去: ジクロロメタン/ヘキサン(50:50) 50mL 溶出: ジクロロメタン/ヘキサン(50:50) 30mL"] M --> N["濃縮 ロータリーエバポレータ 窒素パージ 1mL未満まで"] N --> O["溶解・定容 ジクロロメタン/ヘキサン(50:50) 1mL"] O --> P["GC/MS-SIM-EI"] subgraph Cleanup [クリーニング] direction TB C1["クリーニング剤添加 キノリン-d7 50ng"] C2["クリーニング剤添加 ナフタレン-d8 50ng"] end C1 -.-> B C2 -.-> O </pre> <p>クリーニング剤添加 キノリン-d₇ 50ng</p> <p>クリーニング剤添加 ナフタレン-d₈ 50ng</p> <p>2回繰り返す</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【底質】(ng/g-wet) [5] 0.10</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP6890 MS：HP5973MSD カラム DB-1701 30m×0.25mm、0.25μm</p>